

## 耳が「サクラの形」のネコ 「ネコの楽園」に潜む課題とは？ ボランティア団体の活動に密着 福岡県・相島

6/2(水) 20:11 配信 20  

TNC テレビ西日本



テレビ西日本

耳が「サクラの形」のようにになっているネコ。

耳の上の部分がVの字のようにになっています。

福岡県新宮町の「ネコの楽園」で進む、「さくらネコプロジェクト」を追いました。

福岡県新宮町の港から船で20分。

相島は、周囲約6キロ、島民240人が暮らす小さな島です。

船を降りるとすぐに出迎えてくれるのが、たくさんのネコです。

野良ネコがのんびりと暮らすこの島には、休日になると大勢の人がネコを目当てに訪れます。

### ◆訪れた人

「今日はネコに会いに来ました。かわいい！かわいいです」  
「めっちゃ人懐っこいですね」  
「心が癒されますね」

相島が有名になったのは8年前、アメリカのテレビ局・CNNで「世界6大ネコスポット」として紹介されたことがきっかけです。

世界中からネコ好きが集まり「ネコの楽園」とも言われていますが、2年ほど前まではエサが十分に行き届かず、痩せ細ったネコや病気になるネコも多かったといえます。

町役場には、島を訪れた人から助けを求める声が多く寄せられていました。

### ◆どうぶつ基金 佐上邦久理事長

「皆さんお疲れ様です。本日は朝早くからありがとうございます」

ネコの世話をしていた島民からの依頼で立ち上がったのは、野良ネコの無料不妊手術を行うボランティア団体です。

命を守りながら数を管理しようと、野良ネコを捕獲して不妊手術を行い、元の場所に戻すプロジェクトが進められています。

### ◆どうぶつ基金 佐上邦久理事長

「2年前くらいからせつせと餌やりをして、健康状態がかなりよくなってきたというのが現状ですね。手術をしても大丈夫だろうということで私たちは手術をさせていただいたということです」

1匹の母ネコが一度の出産で産む子ネコの数、3～6匹。

さらに1年で3回発情期があり、ネコは小さい島で繁殖を繰り返し増え続けていました。

現在250匹以上。

島の人口よりも多く、高齢の島民だけでは飼育しきれなくなっていました。

これまでに、約98%、240匹以上のネコが不妊手術やワクチンの投与、ケガの治療を終えました。

手術を受けたネコの耳にはV字の切り込みが施され、サクラの花びらのように見えることから「さくらネコ」と呼ばれています。

手術を受けていないのは、確認できる限り、残り4匹です。

多くのネコが集まる餌場を中心に探しますが…

◆どうぶつ基金 佐上邦久理事長

「なかなかですね、見つからないです」

ほとんどが人慣れしているとはいえ、ネコは警戒心の強い動物です。

諦めかけたその時—

「いたいた！」

「さくらネコ」になっていない未手術のネコです。

目の前に餌を入れた捕獲器を設置すると…

「よし、入った！」

捕獲されたことに驚き、一時的にパニックに。

落ち着かせるために、捕獲器に布をかぶせます。

この日捕獲したのは1匹のみ。

体への負担を考え、その日のうちに手術をして次の日には相島へ戻す予定です。

その後、海を渡りやってきたのは、野良ネコの不妊手術のために整備された、筑後市の病院です。

ここでは月に2回、県内各地から集まる野良ネコの手術を行っていて、費用は全て企業や個人からの募金で賄われています。

相島のネコも無事、手術を終えました。

次の日、術後の健康状態を確認した上で、ネコは元いた場所に戻されました。

◆どうぶつ基金 佐上邦久理事長

「1頭の母ネコから生まれる子ネコ、孫ネコっていうのは1年で50頭くらいになります。90%ぐらいの不妊手術が終わった島でも、5年すると元の木阿弥になって世代交代が起こっているということが起こっていますので、継続してウォッチすることが大切だと思います」

相島では、今後もボランティアが餌やりなどを行いながら、事後調査を行っていくということです。

※島民の中には、これまでネコと人間が上手く共存してきたのだから自然のままにしておいてほしいという人も多く、すべての人が取り組みに賛成というわけではないということです。